

青森山田、8強ならず



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2008

インターネット
号外

購読のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-46-5939

ヨム

コウドクサンキュー

0-2 慶応に惜敗



【青森山田 慶応】3回表青森山田1死、阿部が中前にチーム初ヒットを放つ。投手田村(甲子園)

第90回全国高校野球選手権大会第13日は14日、甲子園球場で3回戦を行い、本県代表の青森山田は第2試合で慶応(北神奈川)と、9年ぶりのベスト8進出を懸けて対戦したが、0-2で惜敗した。

詳細は朝刊で

2点目を挙げ、試合を優位に進める慶応に対し、青森山田は八回、四球と盗塁などで二死三塁としたが、あと一本が出なかった。青森山田の先発木下は伸びのある直球に変化球を織り交ぜながら、コーナーを丁寧につく投球で七回6安打に抑え、八回から代わった斎藤英も二死満塁のピンチを無失点で切り抜けたが、自慢の打線が田村、只野を打ち崩せなかった。

▽3回戦	
青森山田	0 0 0 0 0 0 0
慶 応	1 0 0 0 0 0 10×
	2 0

(青)木下、斎藤英―矢野
(慶)田村、只野―鈴木亮
▽二塁打||豊田(青)